

<p>りするとともに、自分の考えを深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている。 積極的に場面の様子や捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 	<p>「発想を広げて課題を見つける」</p> <p>「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている。 積極的に場面の様子や捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 	<p>4</p>
<p>定期考査</p>	<p>「発想を広げて課題を見つける」</p> <p>「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている。 積極的に場面の様子や捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 	<p>3</p>
<p>定期考査</p>	<p>「発想を広げて課題を見つける」</p> <p>「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている。 積極的に場面の様子や捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 	<p>1</p>
<p>言葉と社会</p> <p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉は、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉豊かにしている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 実社会との関わりを考えるための読書の意義や効用について理解を深める。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意を親しきなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使う。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて詳細にたるとともに、自分の考えを深める。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にする。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特質や課題を捉え直す。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめる。 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め、自分の考えを討論する。 粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をする。 	<p>「言葉は世界を切り分ける」</p> <p>「まちの豊かさとは何か」</p> <p>「時間と自由の関係について」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に筆者が考えたことを理解し、学習課題に沿って表現に託された意味を捉え、自己との関係の中で、世界についての考えを深めようとしている。 積極的に場面の様子や捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしている。 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。 	<p>4</p>
<p>定期考査</p>	<p>「本を紹介する」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめる。 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め、自分の考えを討論する。 粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をする。 	<p>4</p>
<p>定期考査</p>	<p>「調べた情報を説明資料にまとめる」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特質や課題を捉え直す。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめる。 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め、自分の考えを討論する。 粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をする。 	<p>5</p>
<p>定期考査</p>	<p>「調べた情報を説明資料にまとめる」</p>	<p>○</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【批判】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめる。 進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め、自分の考えを討論する。 粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をする。 	<p>1</p>

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者：（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
 使用教科書： （ 東京書籍「精選言語文化」（言文 702） ）
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
現代文1 随筆 [知技] 語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 [思判表] 随筆というジャンルの内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 [主] 進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて随筆を読み味わい、筆者の見解を捉える。	・随筆（言葉を屈ける、耳覚めの季節） ・国語辞典		○		[知技] 語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] 随筆というジャンルの内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している（読）。 [主] 進んで筆者のものの見方や感じ方を捉えて随筆を読み味わい、学習課題に沿って、恋愛をテーマに詠まれた短歌とそれに対する筆者の見解を捉えようとしている。	○	○	○	4
古文1 古文入門（説話） [知技] ・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや特有の表現などについて理解する。 [思判表] 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 [主] 進んで文語のきまりについて理解し、学習課題に沿って登場人物の心情や説話のおもしろさを読み取る。	・古文入門（説話） ・児のそら寝、用光と白波、絵仏師良秀、大江山の歌 ・古語辞典			○	[知技] ・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや特有の表現などについて理解している。 [思判表] 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [主] 進んで文語のきまりについて理解し、学習課題に沿って登場人物の心情や説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
漢文1 漢文入門 [知技] ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 [思判表] 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 [主] 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つ。	・訓読の基本 ・故事成語（矛盾、助長、推敲） ・漢和辞典			○	[知技] ・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 [思判表] 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [主] 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つ。	○	○	○	6
現代文2 小説1 [知技] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 [思判表] ・小説の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもつ。 [主] ・描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深める。 ・古典を元にして作られた作品について理解を深め、学習課題に沿って、翻案作品と原作との違いや、翻案作品の創作性について考える。	・小説1（羅生門、雨漏りの音） ・国語辞典		○		[知技] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [思判表] ・小説の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもっている。 [主] ・進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。 ・古典を元にして作られた作品について理解を深め、学習課題に沿って、翻案作品と原作との違いや、翻案作品の創作性について考えようとしている。	○	○	○	8

1
学
期

<p>古文2 随筆 [知技]・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや特有の表現などについて理解する。 [思判表]・文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 [主]・進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉える。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、作者のものの見方や感じ方、考え方を捉えたり、自分と関係づけて考えたりする。</p>	<p>・随筆（徒然草、方丈記、枕草子） ・古語辞典</p>		<p>[知技]・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや特有の表現などについて理解している。 [思判表]・文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主]・進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、作者のものの見方や感じ方、考え方を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。</p>	○ ○ ○	8
<p>漢文2 寓話 [知技]・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりや漢文特有の表現などについて理解する。 [思判表] 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 [主] 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。</p>	<p>・寓話（借虎威、朝三暮四、塞翁馬） ・漢和辞典</p>		<p>[知技]・言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・訓読のきまりや漢文特有の表現などについて理解している。 [思判表] 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [主] 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考えようとしている。</p>	○ ○ ○	5
定期考査					
<p>現代文3 詩歌 [知技] 言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 [思判表] 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 [主] 進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取る。</p>	<p>・詩歌（近現代の短歌、俳句、詩） ・国語辞典</p>		<p>[知技] 言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [主] 進んで短歌や俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取るようとしている。</p>	○ ○ ○	5
<p>古文3 歌物語 [知技]・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 [主] 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉える。</p>	<p>・歌物語（伊勢物語） ・古語辞典</p>		<p>[知技]・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [主] 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。</p>	○ ○ ○	4

<p>古文4 日記</p> <p>〔知技〕・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p> <p>〔主〕進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考える。</p>	<p>・日記（土佐日記）</p> <p>・古語辞典</p>		<p>〔知技〕・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>〔主〕進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えようとしている。</p>			3
<p>定期考査</p>				○	○	1
<p>漢文編3 詩文</p> <p>〔知技〕・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。</p> <p>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。</p> <p>〔主〕進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。</p>	<p>・詩文（絶句、律詩、雑説）</p> <p>・漢和辞典</p>	○	<p>〔知技〕・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>〔主〕進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p>	○	○	4
<p>2 学期</p> <p>現代文4 小説2</p> <p>〔知技〕・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>〔主〕・進んで本文の内容や構成、展開などを捉え、学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わう。</p> <p>・進んで本文に表れているものの見方や感じ方を捉え、学習課題に沿って、特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について考えようとする。</p>	<p>・小説2（富岳百景、鏡）</p> <p>・国語辞典</p>	○	<p>〔知技〕・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>〔思判表〕・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>〔主〕・進んで本文の内容や構成、展開などを捉え、学習課題に沿って、主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。</p> <p>・進んで本文に表れているものの見方や感じ方を捉え、学習課題に沿って、特有の語り口で書かれた小説を読み、「鏡」が持つ意味について考えようとしている。</p>	○	○	7

<p>古文5 和歌 [知技] 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 [思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。 [主] ・進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌に表れたもの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする。 ・進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとする。 ・進んで詩歌や楽曲に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、学習課題に沿って、さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古文5 (万葉集、古今和歌集、新古今和歌集) 短歌を作る 恋の歌を読み比べる 辞書の活用 		<p>[知技] 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 [思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 [主] ・進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌に表れたもの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。 ・進んで短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。 ・進んで詩歌や楽曲に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、学習課題に沿って、さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p>	○ ○ ○	9
<p>古文6 作り物語 [知技] ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 [思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 [主] 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作り物語 (竹取物語) 辞書の活用 		<p>[知技] ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主] 進んで文章の展開や表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。</p>	○ ○ ○	4
<p>漢文4 史話 [知技] 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 [思判表] ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 [主] 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 史話 (晏子之御、管鮑之交、臥薪嘗胆) 辞書の活用 		<p>[知技] 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 [思判表] ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 [主] 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>	○ ○ ○	4
<p>定期考査</p>				○ ○	1
<p>現代文5 桜に関する作品を読み比べる [知技] 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 [思判表] ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 [主] 進んで桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べ、学習課題に沿って、日本文化における桜のありようを探ろうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 桜に関する作品を読み比べる 辞書の活用 		<p>[知技] 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [思判表] ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 [主] 進んで桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べ、学習課題に沿って、日本文化における桜のありようを探ろうとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	5

<p>古文6 軍記物語 [知技]・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 [主]・進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとする。 ・進んで『平家物語』を素材とした芸能などを調べ、学習課題に沿って、受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持とうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語（平家物語） ・受け継がれる『平家物語』 ・辞書の活用
<p>古文7 俳諧 [知技] 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 [主]・進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとする。 ・進んで俳句の翻訳について理解し、学習課題に沿って、多様な解釈に触れるとともに、自らの解釈を深めようとする。 ・進んで文学碑について理解し、学習課題に沿って、地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧（奥の細道） ・俳句の翻訳 ・文学碑を調べる ・辞書の活用
<p>古文の広がり [知技]・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める。 [思判表]・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 [主]・進んで古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し、学習課題に沿って、筆者の論証の過程を整理したり、古文における擬音語・擬態語を現代語と比較したりしようとする。 ・進んで歴史的な文体の変化について理解を深め、学習課題に沿って、実例に即して気づいた点や興味・関心を持った点を挙げたり、日本語の文体の変化について話し合いをしたりしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の広がり（昔の犬は何と鳴く、文体の変遷） ・辞書の活用

<p>[知技]・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主]・進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。 ・進んで『平家物語』を素材とした芸能などを調べ、学習課題に沿って、受け継がれてきた言語文化について自分の考えを持とうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>[知技] 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [思判表]・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 [主]・進んで文章の構成や展開について理解し、学習課題に沿って、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 ・進んで俳句の翻訳について理解し、学習課題に沿って、多様な解釈に触れるとともに、自らの解釈を深めようとしている。 ・進んで文学碑について理解し、学習課題に沿って、地域の文学碑を調べ、集めた材料を吟味し、整理しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>[知技]・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 [思判表]・作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主]・進んで古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し、学習課題に沿って、筆者の論証の過程を整理したり、古文における擬音語・擬態語を現代語と比較したりしようとしている。 ・進んで歴史的な文体の変化について理解を深め、学習課題に沿って、実例に即して気づいた点や興味・関心を持った点を挙げたり、日本語の文体の変化について話し合いをしたりしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>

<p>漢文5 思想</p> <p>[知技] ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史・文化的背景などを理解する。 <p>[思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 <p>[主] ・進んで自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、『論語』を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、『論語』の注釈を読んで、自分の考えを伝え合ったりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わる名鑑を作ろうとする。 ・進んで孟子の比喻表現を多用した論理展開について理解し、学習課題に沿って、孟子の思想に興味を持とうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思想（論語、孟子） ・『論語』の注釈を読む ・「孔子の十哲」名鑑を作る ・辞書の活用 	<p>[知技] ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>[思判表] ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 <p>[主] ・進んで自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、『論語』を読んで、孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり、『論語』の注釈を読んで、自分の考えを伝え合ったりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わる名鑑を作ろうとしている。 ・進んで孟子の比喻表現を多用した論理展開について理解し、学習課題に沿って、孟子の思想に興味を持とうとしている。 	<p>6</p>
<p>定期考査</p>			<p>1</p> <p>合計</p> <p>105</p>

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（東京書籍「精選論理国語」（論国702））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語	書	読						
1 学 期	1 発見への誘い 【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 ・推論の仕方について理解を深め使う。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主】 ・粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて、「読書」について自分の意見をまとめ、発表しようとする。 ・進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる。芸術に対する見方を深めようとする。 ・進んで論理的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとする。	1 発見への誘い 「いつもそばには本があった」 「ミロのヴィーナス」 「論理の力を鍛えよう」 「論理とは何か」 その他 国語辞典、タブレット端末、デジタルコンテンツ等の活用	○							5
	2 言語と認識（読む） 【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 ・推論の仕方について理解を深め使う。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【主】 ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとする。 ・粘り強く論理的な思考力と質問する力の関連性を捉え、学習課題に沿って論理的な文章におけるよりよい質問に対する考えを深めようとする。 ・進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、もの見方や考え方を培おうとする。 ・進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って、中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとする。	相対依存の自己規定 質問する力 科学的「発見」とは 要約する力 その他 国語辞典、タブレット端末、デジタルコンテンツ等の活用		○						8

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：1 単位
 対象学年組：第2学年 1組～7組
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（数研出版 文学国語 ）
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学期	A 文学の扉 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考える。 粘り強く『山月記』と『人虎伝』の差異を見極め、学習課題に沿って考察する。	文学の扉 山月記 人虎伝 ・一人1台端末の活用 等	○						4
	B 平成の小説 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿ってスピーチする。 「無用の人」という題名の意味について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考える。	平成の小説 鍋セット 無用の人 ・一人1台端末の活用 等	○						7
	定期考査					○	○		2

高等学校 令和5年度(2学年用)教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 3 単位
対象学年組: 第2学年 1組~7組
教科担当者: (組:) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
使用教科書: (第一学習社 高等学校 精選古典探究)
教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains a paragraph describing the learning objectives for that category.

Main table with 5 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (語・書・読), 評価規準, 知・思・態, 配当時数. It details the curriculum for 'Classical Inquiry' across three units.

<p>我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙のさまりについて理解を深める。 ・積極的に『荘子』を読み、比喩や寓意にこめられた荘子の主張について説明しようとしている。 <p>語彙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儒家と対立する法家の古典である『韓非子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・思想という文章の機能をふまえて、構成や展開の論に記述する。 ・著者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語彙を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語彙の量を増やし、知識を蓄積させる。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・語彙のさまりについて理解を深める。 ・積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。 <p>語彙成動 多句・名詞について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『語彙』を辞典とする多句・名詞について、意味や使用場面を調査し、その結果を発表する。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・『語彙』を辞典とする多句が現代の日本語にもたらした影響について理解を深める。 ・多句・名詞の意味と使用場面を遡って調べ、その結果をわかりやすく発表しようとしている。 				<p>著者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語彙の量を増やし、知識を蓄積させる。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・語彙のさまりについて理解を深める。 ・積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。 <p>語彙成動 多句・名詞について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『語彙』を辞典とする多句・名詞について、意味や使用場面を調査し、その結果を発表する。 ・作品を評価することを通して、我が国の言語文化について考えを深める姿勢を養う。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・『語彙』を辞典とする多句が現代の日本語にもたらした影響について理解を深める。 ・多句・名詞の意味と使用場面を遡って調べ、その結果をわかりやすく発表しようとしている。 		
定期考査					○ ○	1
						合計 105

科目（講座名）	現代文B	2単位	学校必修修
教科書	現代文B（教育出版）	担当教員	
副教材	高校生必修語彙ノート（桐原書店） ニューグレード現代文Ⅲ（桐原書店） 国語便覧（数研出版）		

学習の目標

- ・近代以降の様々な文章を読む能力を高める。
- ・様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
- ・大学入試現代文に対応できるよう、自力で問題を解く力を身につける。

授業内容

- | | |
|---------|----------------------------|
| (1) 現代文 | (ア) 随筆
(イ) 小説
(ウ) 評論 |
|---------|----------------------------|

学習方法

- ・読解の基本として高度な要約方法を学ばせる。
- ・論理的な文章の展開を正確につかませる。
- ・大学入試問題を解きながら、問題を解いて、自分が弱い点をつかませる。

評価の観点

関心・意欲・態度	様々な形態の文章に対して、意欲的に授業に臨んでいる。
話す・聞く能力	様々なものの見方や考え方を正確に表現できる。
書く能力	筆者の主張を正確に文章化できる。
読む能力	主題をとらえ、それを自分の考え方と比較できる。
知識・理解	それぞれの文章に対して、理解や知識を得ている。

評価方法

1. 年4回の定期考査を行う。
2. ノート、提出物の点検を行う。
3. 出席状況、学習態度などを年間を通して考慮する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	26	①随想 ②小説一 ③評論一	①随筆の特質を理解し、読解力を向上させる。 ②現代小説のテーマや方法の多様性を知る。 ③文章の論理的構造に着目して、評論文を論理的に解析し、理解する方法を指導する。	①忘れてはならない記憶としての水俣病を、人々の生活と言葉を通して考えさせる。「同情」という言葉の意味を読み取り、人間の生および文学における想像力について考えさせる。 ②語句を調べたり、表現上の特徴を分析したりすることで、豊かな語彙力や幅広い表現力を養う。 ③「記号論」や「テキスト論」の基本について理解し、現代の指導についての関心を喚起する。
2	9 10 11 12	28	①詩 ②評論二 ③小説二 ④評論三	①近代詩、近代日本語の美しい韻律・レトリックについてまとめる。 ②論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力について自己の力を知る。 ③極限状況に置かれた人間の心理を通して、近代戦争と人間との関係についての考えを深めさせる。 ④文章の構成や展開を確かめながら、筆者の主張を読み取らせる。	①それぞれの詩を学び、日本近代文学詩の特徴であるリズムや形式、比喩などについて指導する。 ②資本主義やアイデンティティといった、現代社会が直面する問題について認識を深め、自己の問題意識を明確にしなが、自己を見つめさせ、そこから自己の「レゾン・デートル」をつかませる試みを行う。 ③戦後社会の実態を通して、戦後日本の置かれていた状況や、そこに露呈した人間存在について考えさせる。そこには何が存在し、何が存在しえなかったのかについての討議をアクティブラーニングの形で行いたいと考える。 ④深層心理学や社会学の観点から、意識と無意識の関係や、幻想世界との関わりについて深い理解を促していく。
3	1 2 3	16	①小説三 ②評論四	①近代文学の古典と位置づけられ、新指導要領でも大きく扱われている作品を通して、人間の生き方について学ばせる。 ②現代社会の現状を客観的に分析させる。	①作中人物の境遇や性格を確実に把握させたいので、それらの人物の行動と心理を分析し、正確に把握させる。そしてそれが倫理的に正しいかどうかという点についても考えさせる。 ②現代技術の進歩とそれがなげかけている倫理の問題から、これからの私たちに課せられている問題点についての考察を深く行っていく。

科目（講座名）		現代文演習	2単位	自由選択
教科書	なし		担当教員	
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学入試演習 スタディアーク 現代文（第一学習社） ● 共通テスト代作【実力養成】重要問題演習 現代文（Learn・S） 			

学習の目標

- ・近代以降の様々な文章を読む能力を高める。
- ・現代文の問題を演習形式で解き、大学入試に必要な知識、読解力、表現力を得る。

授業内容

- （1）知識の習得
- （2）問題演習

学習方法

- ・基本的な知識項目を学ばせる。
- ・問題演習によって、実践力を身に付けさせる。

評価の観点

関心・意欲・態度	積極的に学ぶ意欲があるかどうか。
話す・聞く能力	説明を確実に理解し、理解した内容を自分で説明できるかどうか。
書く能力	記述問題において、設問に沿った記述ができるかどうか。
読む能力	長文の作品でも設問に向けて読み進める力があるかどうか。
知識・理解	知識項目をしっかりと学習し、また問題文の内容を理解できるかどうか。

評価方法

1. 年4回の定期考査を行う。
2. 毎時間、課題の確認を行う。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	26	①問題演習（評論）	①大学入試演習として幅広い問題の演習に取り組む	①個人による問題読解・ペアもしくはグループによる相互説明及び確認・考えの発表および教員による解説に分け、講義のみではなく主体的な態度の育成と各自の気づきを基にした授業展開とする
	5				
	6				
1	7	26	②問題演習（小説）	②共通テストの実力養成問題を演習する。	②各自自宅での学習教材として使用する。
	7				
	7				
1	7	26	③語彙確認	③現代文の問題で使用される語彙を身につける	③定期的に確認問題による定着度の確認を行う
	7				
	7				
2	9	28	①問題演習（評論）	①大学入試演習として幅広い問題の演習に取り組む	①個人による問題読解・ペアもしくはグループによる相互説明及び確認・考えの発表および教員による解説に分け、講義のみではなく主体的な態度の育成と各自の気づきを基にした授業展開とする
	10				
	11				
2	12	28	②問題演習（小説）	②共通テストの実力養成問題を演習する。	②各自自宅での学習教材として使用する。
	12				
	12				
2	12	28	③語彙確認	③現代文の問題で使用される語彙を身につける	③定期的に確認問題による定着度の確認を行う
	12				
	12				
3	1	16	①問題演習（評論）	①大学入試演習として幅広い問題の演習に取り組む	①個人による問題読解・ペアもしくはグループによる相互説明及び確認・考えの発表および教員による解説に分け、講義のみではなく主体的な態度の育成と各自の気づきを基にした授業展開とする
	2				
	3				
3	3	16	②問題演習（小説）	②共通テストの実力養成問題を演習する。	②各自自宅での学習教材として使用する。
	3				
	3				
3	3	16	③語彙確認	③現代文の問題で使用される語彙を身につける	③定期的に確認問題による定着度の確認を行う
	3				
	3				

科目（講座名）	古典B	3単位	自由選択
教科書	標準古典B（第一学習社）	担当教員	
副教材	重要古文単語315（桐原書店） 解析古典文法（桐原書店） 国語便覧（数研出版） ニューグレード古文読解Ⅲ（桐原書店）		

学習の目標

- ・古語、古典文法、古典常識を学び、古典文学を発展的に読解する。
- ・古典文学に登場する人物とその背景を知る。
- ・大学入試に適応する実力をつける。

授業内容

- (1) 古典 (ア) 古文
(イ) 大学入試演習

学習方法

- ・古文は応用的な文法事項（とくに助詞、助動詞）を読解に用いる。
- ・大学入試用問題集で演習を重ねる。

評価の観点

関心・意欲・態度	文章に関する興味、関心について評価する。
話す・聞く能力	古文の音読を正確にできるかどうかを評価する。
書く能力	古文を正確に書き取り、設問に答えられるかどうかを評価する。
読む能力	古文については、人物背景を正確につかみ、心情を理解できるかどうかを評価する。とくに大学入試に適応できる力を養成する。
知識・理解	入試に必要な文法を理解できるかどうかを評価する。

評価方法

1. 年4回の定期考査を行う。
2. ノート、提出物の点検を行う。
3. 出席状況、学習態度などを年間を通して考慮する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	39	①伝承・説話 ②物語一 ③俳諧 ④大学入試演習	①どのような関心によって語り伝えられたのかを知る。 ②仮名散文の発達期にかかれた物語文学の多彩さを味わわせる。 ③俳諧独自の表現に慣れさせる。 ④助詞・助動詞を中心に読解を進め、大学入試という目的をきちんと定めさせる。	①報恩譚、因果関係、伝奇性などを中心に、読解を進め、生徒の関心を引くとともに、内容を深く考えさせる。 ②登場人物の行動と心情を的確につかませる。 ③俳人の俳風や近世を通じての俳風の歴史的変化に目を向けさせる。 ④『発心集』『宇治拾遺物語』『平治物語』『増鏡』『玉勝間』『古今著聞集』『沙石集』を中心に読解を進め、受験の根本的姿勢を形づくる。また、自分のいままでの学習態度を振り返らせながら、受験に向けた勉強を示唆する。
2	9 10 11 12	42	①物語二 ②日記 ③大学入試問題	①戯曲的設定や複雑な人間関係がどのように描かれているのかをつかませ、読解の根本をつかませる。 ②代表的な女性日記文学を読み味わい、その特色を理解させる。 ③副詞・敬語・和歌の修辞法・語の識別法などを中心に授業を進め、大学入試レベルに実力を高める。	①『大鏡』に独特の世界を知らしめ、敬語から人物を特定する方法やストーリーの展開を読み取らせる。『源氏物語』の筋を知り、その人間関係をつかみ、膨大な物語の全体像をつかませる。主人公光源氏とこれをめぐる諸人物たちの関係性や諸相について、深く考察させる。敬語表現にとくに注目させ、敬語のもつ本質的な働きをつかませる。 ②それぞれの作者の生きた時代や立場の違いをつかませる。 ③『古今著聞集』『讃岐典侍日記』『蜻蛉日記』『平家物語』『俊頼髓脳』『花月草紙』『無名草子』『源氏物語』を中心に読解を進め、受験の発展的な指導を行う。
3	1 2 3	24	①評論 ②大学入試問題	①古典文学を創り育てた人々の古典に寄せる真摯な思いを理解させる。また芸術や文化を尊重する心を養う。 ②語句の識別法を中心にし、大学入試の最終段階を学ばせる。	①時代や分野の異なる評論を読み、話題にされている文学のジャンルを超えた共通点や相違点について考えさせる。各評論に示された古人のものの見方、感じ方をふまえ、読解を進める。 ②『枕草子』『栄花物語』『夜の寝覚』『蜻蛉日記』『堤中納言物語』『落窪緒物語』を中心に長文の作品を読ませ、受験の最終局面において、自己の能力を確かめさせる。

科目（講座名）	古典B	4単位	自由選択
教科書	標準古典B（第一学習社）	担当教員	
副教材	重要古文単語315（桐原書店） 解析古典文法（桐原書店） 国語便覧（数研出版） ニューグレード古典読解Ⅲ（桐原書店） 漢文必携・チェックノート（桐原書店）		

学習の目標

- ・古語、古典文法、古典常識を学び、古典文学を発展的に読解する。
- ・古典文学に登場する人物とその背景を知る。
- ・大学入試に適応する実力をつける。

授業内容

- (1) 古典 (ア) 古文
(イ) 漢文
(ウ) 大学入試演習

学習方法

- ・古文は応用的な文法事項（とくに助詞、助動詞）を読解に用いる。
- ・漢文は句法を最終的にまとめることで、読解を進める。
- ・大学入試用問題集で演習を重ねる。

評価の観点

関心・意欲・態度	文章に関する興味、関心について評価する。
話す・聞く能力	古文・漢文の音読を正確にできるかどうかを評価する。
書く能力	古文・漢文を正確に書き取り、設問に答えられるかどうかを評価する。
読む能力	古文・漢文について、人物背景を正確につかみ、心情を理解できるかどうかを評価する。とくに大学入試に適応できる力を養成する。
知識・理解	入試に必要な文法・句法を理解できるかどうかを評価する。

評価方法

1. 年4回の定期考査を行う。
2. ノート、提出物の点検を行う。
3. 出席状況、学習態度などを年間を通して考慮する。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	52	①伝承・説話 ②物語一 ③俳諧 ④逸話 ⑤大学入試演習	①どのような関心によって語り伝えられたのかを知る。 ②仮名散文の発達期にかかれた物語文学の多彩さを味わわせる。 ③俳諧独自の表現に慣れさせる。 ④訓読法を学ぶ。 ⑤助詞・助動詞を中心に読解を進め、自己の目的を定めさせる。	①報恩譚、因果関係、伝奇性などを中心に、読解を進め、生徒の関心を引くとともに、内容を考えさせる。 ②登場人物の行動と心情を的確につかませる。 ③俳人の俳風や近世を通じての俳風の歴史的变化に目を向けさせる。 ④語句・句法に注意させる。 ⑤『発心集』『宇治拾遺物語』『平治物語』『増鏡』『玉勝間』『古今著聞集』『沙石集』を中心に読解を進め、受験の根本的姿勢を形づくる。また、自分のいままでの学習態度を振り返らせながら、受験に向けた勉強を示唆する。
2	9 10 11 12	56	①物語二 ②日記 ③漢詩の鑑賞 ④史記の群像 ⑤大学入試問題	①戯曲の設定や複雑な人間関係をつかませる。 ②代表的な女性日記文学を読み味わわせる。 ③古体詩の形式と内容を知る。 ④長い文章の漢文に慣れ、訓読上のきまりを学ぶ。 ⑤副詞・敬語・和歌の修辞法・語の識別法などを中心に授業を進め、大学入試レベルに実力を高める。	①『大鏡』『源氏物語』の筋を知り、その人間関係をつかみ、膨大な物語の全体像をつかませる。主人公光源氏とこれをめぐる諸人物たちの関係性や諸相について、深く考察させる。敬語表現にとくに注目させ、敬語のもつ働きをつかませる。 ②それぞれの作者の生きた時代や立場の違いをつかませる。 ③時代背景に注意を払わせる。 ④中国古代の社会状況や政治思想を指導する。 ⑤『古今著聞集』『讃岐典侍日記』『蜻蛉日記』『平家物語』『俊頼髓脳』『花月草紙』『無名草子』『源氏物語』を中心に読解を進め、受験の発展的な指導を行う。
3	1 2 3	32	①評論 ②名家の文章 ③大学入試問題	①古典文学を創り育てた人々の古典に寄せる思いを理解させる。 ②中国の代表的な文章を味わわせる。 ③語句の識別法を中心にし、大学入試の最終段階を学ばせる。	①時代や分野の異なる評論を読み、話題にされている文学のジャンルを超えた共通点や相違点について考えさせる。 ②擬人法、対句、寓意などに注意し、作者の主張をつかませる。 ③『枕草子』『栄花物語』『夜の寝覚』『蜻蛉日記』『堤中納言物語』『落窪緒物語』を中心に長文の作品を読ませ、受験の最終局面において、自己の能力を確かめさせる。

科目（講座名）		実用国語	2単位	自由選択
教科書	なし		担当教員	
副教材	パスポート国語必携（桐原書店）			

学習の目標

就職・公務員・専門学校の入試に向けた、基礎的な教養を身に付ける。

授業内容

漢字・語句・作文・一般常識の指導を基本とする。

学習方法

- (1) 漢字・語句
- (2) 作文
- (3) 一般常識

評価の観点

関心・意欲・態度	自分の教養を伸ばすつもりがあるかどうか。
話す・聞く能力	一般教養について知識を得て、それを発表できるかどうか。
書く能力	作文を正しく記述できるかどうか。
読む能力	漢字・語句に注意して文章を読めるかどうか。
知識・理解	一般常識の知識を理解できるかどうか。

評価方法

1. 漢字、語句の小テスト（年間 20 回）
2. 作文の課題提出
3. 定期考査 2 回

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4 5 6 7	26	①漢字および語句の基礎的な練習 ②作文および小論文の基礎的な知識の習得	①漢字および語句の指導を行う。 ②作文および小論文について、その表現技術を学ぶ。	①レクチャーした上で、2時間に1回、小テストを行い、その到達度を見る。テキストに従って学習させる。 ②作文および小論文に必要な基礎的な知識をテキストに従って学習させる。
2	9 10 11 12	28	①漢字および語句の基礎的な練習 ②作文および小論文の基礎的な知識の習得 ③履歴書および手紙の書き方の指導 ④SPIのトレーニング	①漢字および語句の指導を行う。 ②作文および小論文について、その表現技術を学ぶ。 ③履歴書および手紙を実際に書かせる。 ④SPIの問題を解かせる。	①レクチャーした上で、2時間に1回、小テストを行い、その到達度を見る。テキストに従って学習させる。 ②作文および小論文に必要な基礎的な知識をテキストに従って学習させる。 ③履歴書の書き方を実際に書かせながら指導する。正式な手紙の書き方を実際に書かせながら指導する。 ④就職試験のためにSPIを実際に解かせる。
3	1 2 3	16	①漢字および語句の基礎的な練習 ②作文および小論文の基礎的な知識の習得	①漢字および語句の指導を行う。 ②作文および小論文について、その表現技術を学ぶ。	①レクチャーした上で、2時間に1回、小テストを行い、その到達度を見る。実際の文章の中で実力を判定させる。 ②作文および小論文を実際に書かせることで、自己の到達度を感じさせる。